

ネオデント・ニューデントの品種紹介

はじめに

昨年のトウモロコシは6月と7月の多雨による湿害と低温による生育遅延が目立ちました。また条件の悪い地帯では、煤紋病が激発し茎葉が枯れ上がり茶色になった圃場を多くみかけました。

今回は昨年に問題になった煤紋病対策として当社の耐病性品種を中心に紹介します。今春の品種選定に役立てば幸いです。

◎煤紋病対策にはこの品種!!

ニューデント80日：ビビッド (Anjou257)

ビビッドは昨年、激発地帯で煤紋病抵抗性が認められ非常に好評です。当社の接種試験では75日～90日クラスの中で最も優れた抵抗性を示しています(図1)。

昨年の当社の大樹町における試験圃場では9月8日の調査で既に下位葉が病気で枯れ上がっている品種も認められました。10月4日の調査では従来の耐病性品種であるリッチモンドとシンシアの茎葉はほとんどが枯れ上がってましたが、ビビッドはまだ茎葉が青い部分が多く非常に優れた耐病性を示しました。

昨年の大樹町は低温の影響で生育が遅れ全ての品種で絹糸抽出期が8月10日より遅くなりました。ビビッドの絹糸抽出期は8月16日でリッチモンドより2日早く、収穫時の熟度は黄熟初期に達し、総体乾物率も28%に達しました。リッチモンドに比べ子実収量で119%、TDN収量で111%と多収を示し、75日～85日の品種の中では最多収のひとつでした(表1)。

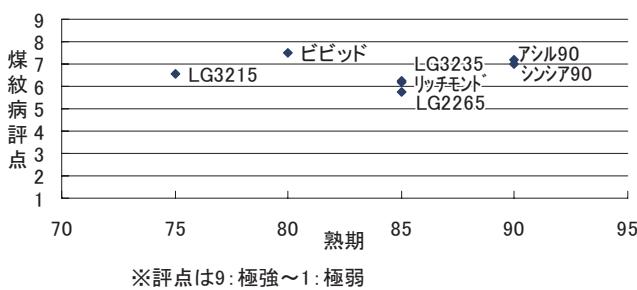


図1 早生クラスの煤紋病抵抗性 (雪印種苗、2009)

ビビッドは道東地方で煤紋病が激発する地帯にお勧めできる品種で当社の試験では煤紋病以外に根腐病にも優れることが明らかで、道央・道南地方の小麦の前作にも利用可能です。



写真 耐病性に優れるビビッド (右側) の草姿

表1 ビビッドの成績 (大樹町、2009年)

品種・系統名	初期生育 9~1 8月	雄糖 開花 8月	絹糸 抽出 0~5	熟度 黄初	生収量		乾物収量				TDN収量		総乾物率 %	
					kg/10a		kg/10a				kg/10a			
					総体	比	総体	比	茎葉	比	子実	比		
(TK 大樹)				10/5										
ニューデント80 ニチ(ビビッド)	5.7	16	16	黄初	4393	101	1235	110	593	101	522	119	891	111 28.1
ニューデント85 ニチ(リッチモンド)	5.0	20	19	黄初	4347	100	1126	100	588	100	439	100	800	100 25.8
ネオデント・シンシア 90 (SL 9945)	5.7	19	18	黄初	4159	96	1049	93	498	85	440	100	758	95 25.1

◎大柄で多収、耐病性にも優れる85日が新発売!!

ニューデント85日：LG3235

今春より従来のリッチモンド、LG2265に加えより大柄で多収なLG3235を新発売します。LG3235は草姿がアップライトリーフで見栄えが良く雌穂は長くて子実収量が多収です。昨年の芽室町、士幌町、訓子府町の試験結果では、リッチモンドやLG2265に比べ雌穂の登熟が早く、総体乾物率はやや低いですが、総体生収量が明らかに多収で、雌穂収量とTDN収量も多収です(表2)。

またLG3235は煤紋病抵抗性にも優れ、耐病性はLG

2265より明らかに優れ、リッチモンドと大差ありませんでした(図1)。

LG3235は十勝、網走、北見、上川地方主体の品種で従来のリッチモンド、LG2265で収量性に満足できない方にお勧めします。また煤紋病抵抗性ばかりでなく根腐病にも優れているため道央、道南地方で早生クラスを栽培し破碎処理を利用する方にもお勧めできます。

表2 LG3235の成績(雪印種苗株、2009)

品種・系統名	初期生育 9~1 8月	抽出期 8月	稈長 cm	着穂高 cm	熟度 表示	不稔 合計 %	生収量		乾物収量			TDN収量		乾物率 %				
							総体 kg/10a	比 %	茎葉 kg/10a	比 %	子実 kg/10a	比 %	総体 kg/10a	比 %				
平均																		
LG 2265	5.1	11	12	254	102	黄初	0.5	5369	104	1497	102	814	95	586	114	1054	104	27.9
リッチモンド	4.8	13	13	255	91	黄初	1.9	5182	100	1462	100	854	100	512	100	1014	100	28.2
LG 3235	5.0	12	13	258	105	穂後~黄	0.3	6082	117	1602	110	877	103	577	113	1127	111	26.3

◎大柄で多収な90日!!

ネオデント・アシル90(北海道優良品種)

アシル90は両親系統を長沼町にある当社北海道研究農場で育成した自社育成品種です。当社では親系統を育成する途中の各世代で煤紋病抵抗性を確認しています。そのためアシル90の煤紋病抵抗性も非常に優れ、接種試験ではビビッド並の抵抗性を示しています(図1)。

アシルは2004年に3カ年の試験結果が良好で北海道優良品種に選定されました。雌穂重は標準品種と大差ありませんでしたが、茎葉収量が多収で、TDN収量は標準品種に比べ十勝農試:110%、北見農試:104%、上川農試:108%と多収でした。

アシル90はシンシア90に比べ若干、晩生で、そのため十勝、網走、上川地方の条件の良い地帯や道央・道南地方の小麦の前作や85~90日の早生品種を栽培し破碎処理を利用する方にお勧めします。稈長が高く大柄

なため7000~8000本/10a栽培でも充分な収量が確保でき、大きな雌穂で高カロリーのサイレージが期待できます。

90日はアシル以外にシンシア90もあります。シンシア90はより短稈ですが登熟が早く、耐倒伏性に非常に優れています。条件の悪い地帯にはシンシア90を道東の条件の良い地帯やガサを希望する方、道央・道南地方ではアシル90をお勧めします。

◎道央、道南地方の煤紋病抵抗性品種!!

ニューデント105日:LG2533

スノーデント110日:LG3520(北海道優良品種)

道央、道南地方の煤紋病対策には105日のLG2533と110日のLG3520をお勧めします。当社の煤紋病接種試験では両品種ともに100日のLG3457や110日のLG3458に比べ、優れた抵抗性を示しています(図2)。

特に105日のLG2533は煤紋病抵抗性ばかりでなく短稈で根張りが良いため耐倒伏性も優れます。

110日のLG3520は根腐病やごま葉枯病にも強く府県でも利用されています。道南地方の条件の良い地帯にお勧めできる品種です。

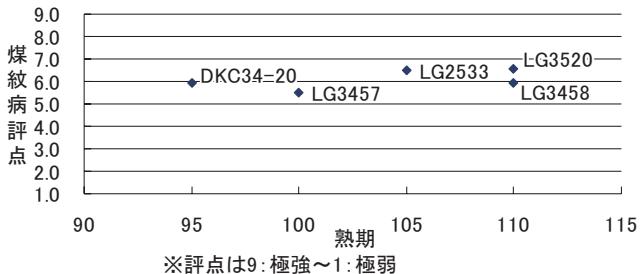


図2 晩生クラスの煤紋病抵抗性(雪印種苗株、2009)

(寒地牧草・飼料作物研究グループ 高橋)

表 トウモロコシ販売品種一覧表

種類	品種名	熟期	初期生育	早晩性	耐倒伏性	煤紋病	根腐病	ごま葉枯病	子実収量	TDN収量	栽植本数 本/10a	備考
ニューデント	LG3215	75	8	9	7	8	9	9	9	9	8000	北海道優良品種
	ビビッド	80	8	8	9	9	9	9	8	9	8~9000	
	リッチモンド	85	8	9	9	8	9	9	7	7	8000	北海道優良品種
	LG2265	85	8	9	8	6	7	7	8	8	7~8000	
新発売	LG3235	85	8	7	8	8	8	8	8	9	8000	
	シンシア90	90	9	9	9	8	7	9	8	7	8~9000	北海道優良品種
	アシル90	90	9	7	8	9	9	9	8	8	7~8000	北海道優良品種
ニューデント	DKC34-20	95	8	8	8	8	8	8	9	8	8000	北海道優良品種
	LG3457	100	8	8	9	7	9	9	8	9	8000	
	LG2533	105	7	7	9	9	8	8	9	8	8000	
	LG3458	110	8	9	9	7	8	8	8	8	8000	
スノーデント	LG3520	110	8	8	7	8	9	8	9	9	7000	北海道優良品種

*評点は9:極良好~1:極不良であり、煤紋病、ごま葉枯病は接種試験の評点ではない。